

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1175700168		
法人名	株式会社ウイズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・蓮田東		
所在地	埼玉県蓮田市東2-1-19		
自己評価作成日	平成26年10月14日	評価結果市町村受理日	平成26年12月17日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kai gokensaku.jp/11/index.php">http://www.kai gokensaku.jp/11/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	特定非営利活動法人 ケアマネージメントサポートセンター		
所在地	埼玉県さいたま市中央区下落合五丁目10番5号		
訪問調査日	平成26年11月5日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

職員の輪を大切にしています。一人では出来ない介護、一人で悩まない介護、一人で決めない介護を、今年度は管理者として意識をしました。職員のリフレッシュの為に連休を取れる体制を作っています。今年度はユニット固定を意識して、各階で出きるだけ、シフトの希望を調整して貰っています。リスクのあるご利用者様にも怯まず取り組む、今年度は透析のご利用者様3名、スーマーのご利用者様の受け入れも取り組みました。協力体制が出来てスピードある入居にも対応しています。職員の協力なしでは出来ない事だと思っています。管理者として看護部をお願いをしてその時必要な勉強会をお願いしています。職員の意識が上がり、今後のスキルアップに繋がる様に今後も努力します。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

・「何でも一番を目指す」とのホーム長の考えのもと、常に利用者第一に目が向けられ、事業所内の協力体制が築かれている。更に利用者だけでなく、家族にも寄り添い、来所時には家庭の状況、生活、健康や仕事などにまで気を配り、利用者や家族の結びつきを大切に考えられた支援が行われている。  
 ・ご家族のアンケートでも、「習字など本人の好きなことをやらせてくれたり、本人の不満に耳を傾け、よく聞き、共感的に接してくれる」、「私一人で限界を感じているのでケアしていただけてありがたいと思う気持ちがあります」などのコメントが寄せられ、事業所・職員の利用者・家族への思いやりに対する高い評価が得られている。  
 ・目標達成計画の達成状況については、複合型事業所の良さを活かした災害対策に取り組み、様々な想定での避難訓練を行い、利用者の安全で安心した生活の提供が行われたこと、さらに家族に対して利用者の日頃の様子を伝え、特に外出支援について家族の理解と共感を得られたことから、目標が達成されている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	日々の会話の中で、ご利用者様の意向を尊重し安心、安全な生活を提供しています。	尊厳と思いやりの気持ちを大切にしたい理念のもと、「上から目線」や「押し付け」などを戒め、「利用者第一」のケアが実践されている。職員の身だしなみ、気持ちの切り替えにも気を配り、利用者が気持ちよく過ごされるよう取り組まれている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	GHの意味を職員会議で、分かりやすい言葉を使い指導をしています。近隣の薬局、ヤクルト、訪問美容をできるだけ地域に入れる様に生活しています。	複合型事業所のメリットを活かし、地域の中学生ボランティアや福祉学校の生徒の実習を受け入れたり、地域のケアマネジャーとの交流などの取り組みが行われている。また、地域の病院からの利用者の受け入れ要請にもこたえるなど、連携が図られている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	市内の年1回の会議、近隣の施設、居宅などを訪問し空室などを連絡し入居に繋げる活動をしています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所、ご家族様が来られる様に、平日、週末 季節の行事に合わせて計画をしています。季節や最近のニュースに合わせて計画をしています。	運営推進会議では防災訓練や自然災害対策について勉強を行うほか、家族の悩みや疑問について話し合う場として活用され、事業所の運営にも反映されている。議事録は市担当者にも手渡され、理解と協力を得られるよう取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	相談に市役所に行ったご家族様に、早めに入れる相談しやすい施設と言って貰える様になりました。広報などは役所の方が訪問をして近況を報告出来る関係になっています。	市担当者は運営推進会議に参加され、避難訓練の様子を視ていただくなど日常的に連携が図られている。市主催で地域の介護サービス事業所が集まる会議にも参加し、情報交換に取り組み、サービスの向上にもつながられている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会(フロア長)を中心に、各フロアに指導をお願いしています。身体拘束研修などにも毎年職員に参加して貰っています。	「9人の利用者一人ひとり同じではない」との考えから、「業務」ではなく、穏やかな気持ちになっていただく「ケア」が必要と認識され、身体拘束に頼らない支援が行われている。利用者の生活ベースを遮ることなく、個性を大切にしたいケアが実践されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	何が身体拘束なのかを職員に業務を通し伝える。ベッド柵の取り扱いなどは細かく指導しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修に参加して頂く。対象者が入居する時には参考資料として実調書類と一緒にネットを活用し職員に配布しています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	実調調査時に簡単な説明、入居時に必要な物のアドバイスをしています。入居時に少し時間を頂く事も説明しています。事前にホームへ電話を頂くご家族様も増えて入居時にトラブルはありません。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の声は私たちの業務にはとても必要な事です。クレームなども職員に随時報告し再度職員会議などで話し合います。ご家族様の意見を取り入れたケアをしています。	利用者とは日頃の会話の中で要望を伺い、家族とは家族会や面会時に話を伺うよう努められている。面会時には利用者のことに留まらず、家族の生活状況や環境、仕事の悩みなどをゆっくり時間をかけてお聴きすることにも取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の業務内で色々な意見を頂き、出来るだけ反映出来る様にしています。代表に直接メールが出来る、玄関前にポストがあり、代表に意見が言える様になっています。	リスクの違いのある利用者それぞれを、どう理解してケアするかの話し合いなどは、職員が納得するまで行われ、管理者からのアドバイスも実施されている。職員も改善提案が出しやすいと感じており、皆で考え、話し合い、工夫を凝らしてサービスの向上に努められている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	賞与の前に個人の評価があります。どれだけ評価が上げられたか、目標を達成出来たか評価します。常勤、非常勤職員にも同じように昇格のチャンスがあります。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	個人のレベルや興味のあることで社内研修に参加をお願いします。シフト内で出来るだけ参加出来る様にシフトを組んでいます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	エリアが分かれています。エリア内で会議が行われる為、近隣の事業所の情報交換が出来やすくなりました。年1回管理者会議もあり、本社役員の参加もあります。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	実調時に細かく確認をします。計画作成者には実調時の問題点などを細かく伝え、暫定プランを作成して貰います。何が必要なのかを専門職として探し出す努力を職員と共有して考えます。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	キーパーソンを通しご家族様の関係を確認します。施設側で相談する方はキーパーソンと周知します。ご家族様の不安がある間は出来るだけ施設長が対応します。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	細かい報告を心がけています。生活の中で出来ている事などは積極的に伝えます。問題点などは言葉を選び相談させて貰います。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活スタイルが変化しても、出来るだけ今までの生活に近い状況で対応します。ストレスを感じない程度で生活して頂ける様に対応しています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様との時間は大切にしています。外出時には注意事項などを説明します。排泄の調整なども前日から行い、楽しい外出にして貰う様に対応します。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	キーパーソンとして連絡を貰った方は、面会時に本人に会って頂きます。ご連絡の無い方は、関係が確認出来ない時にはご遠慮して頂くことを入居時に伝えて頂きます。	馴染みの人の来訪、その方との外出などに対して、利用者の状態を伝え、家族からの承諾を得るなどの準備をすることで関係継続が図れるよう支援が行われている。年賀はがきの投函や電話の取次ぎなどもプライバシーを守りながら対応がなされている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日常の中で職員が間に入り対応しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後知り合いの方をご紹介頂く事もあります。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族様と一緒にご本人が生活に困らない様に気を配り対応します。ユニットケアを通し馴染みの関係を築いて貰います。	利用者一人ひとりの生活歴をよく理解し、どんなことに関心があり、こだわりを持たれるかを見極めることで、思いや意向の把握につなげられている。思い通りにならないときの気持ちを察して、接し方や話し方を変えるなどの工夫も図られている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけ一人の時間も考えています。一人一人のペースで対応する様に心掛けています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個人の起床時間で対応する方なども居ます。おやつなども休まれている時間を考え、別の提供時間で対応します。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成者を中心に計画を行っています。職員の意見を聞く、モニタリングに参加して貰う。出来るだけユニットの職員と一緒に考えたサービス計画を立てる様に努力しています。	介護計画の変更や見直しは、利用者の状況の変化、家族の要望、職員の気づきなどの様々な機会に行われている。計画作成の会議に参加しない職員からも、必ず意見を聞き、「チームで作るケアプラン」を位置づけた取り組みが行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	プランが隣り合わせの生活記録の記入を心がけています。生活記録のナンバリング表が生活記録のバインダーに挟まれています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入院時はプランを中止退院時に再度作成、体調の変化がある時は出来るだけプランを変更しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練 市内の消防署の方を年2回お呼びします。年1回の会社主催バザーに作品を展示昨年は大宮まで電車で作品展を見に行きました。地域のお店を使いおやつなどを買物に行きます。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療のドクターより紹介状の作成をお願いし、ご家族様が受診に困らない様に対応します。専門医師の紹介なども出来るだけ協力して情報を伝えています。	医療機関については、利用者・家族が思うように選んでいただき、かかりつけ医に受診されたときは、医師からの指示を手紙などで受け取り、「通院報告書」に記載し、職員への周知に努められている。また、協力医とも時間外での相談が可能であり、支援体制が築かれている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	医療連携看護師の訪問が毎週あります(週1回)アドバイスを頂き、医療面での相談をさせて頂いています。ご家族様の説明もお願いをする事もあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時に看護サマリーが持参出来る様に体調を観察し作成をしています。入院が長期化しない様に出来るだけ医療機関との連携を取る努力をします。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様の意志を大切に一緒に考えて対応します。今後の行き先を慎重に検討、ご家族様が困らない様病院の紹介をしています。出来るだけ施設生活を希望するご家族様にはリスクなどの話も必ずします。	重度化や終末期については、家族に利用者の現状を常に説明し、次のケア提案をするなど、先を見据えた対応がなされている。看取りに関しても、家族がどのように考えるか、意向を大切にした支援に取り組まれている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AED講習などにも個人で参加して頂ける様に促しています。市内で行う時は連絡ノートに貼紙をして募集を募ります。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練 夜間想定訓練などを行います。毎回内容を検討し職員が交代で参加出来る様に計画を立てます。	様々な想定のもと避難訓練が行われ、そのとき職員は各々何をやるのかの意識付けを行うなどの取り組みがなされている。自ら出火させない対策も取られ、厨房の火の始末、漏電の点検、喫煙ルールの遵守など細部にわたった対策が取られている。	複合型事業所のメリットを活かした防災対策はできているので、訓練を実施する中で課題を見つけ、それらの解決を図ると同時に、全職員への周知徹底をさせるための取り組みが行われることに期待したい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	必ず「さん」をつける事を意識しています。お客様としての気持ちを忘れない様にしています。	利用者・家族と職員が知り合いであっても、ルールを順守し、尊厳とプライバシーを守るよう指導がなされている。外部での会話などにも注意を払い、事業所内のことは外で話さないよう、職員はもちろん家族にもお願いをされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご利用者様に選んで貰える時は、必ず選択の幅を持たせます。出来るだけ表現して貰える様に気を配っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の意思を大切にします。拒否がある時は職員を換える、時間を置く事で対応出来る事もあります。あくまで本人の意思を尊重します。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時に季節の話などをしてご本人と一緒に選ぶ、判断に迷う時は促し対応します。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳、下膳などをして頂く。2階フロアーはランチョンマットを使用、各階ご本人が好きな茶碗、湯のみを使用しています。	利用者一人ひとりに応じて細かな指示が出され、栄養や水分補給などのほか、茶碗の大きさや色、材質にまでこだわった対応がなされている。リクエストに応えたメニューや季節食、ご当地メニューなど、食事を楽しめるよう支援が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ドクターと細かく相談して食事のアドバイスを頂きます。必要時は(栄養剤)などを補助的に入れて栄養の管理をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後には歯磨きの声を掛ける。出来るだけ習慣になる様に促す。口腔内を清潔に保つ事で風邪の予防を心がけています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	本人のペースで排泄の時間を決めています。出来るだけ時間を配慮して声を掛ける。オムツ内の排尿ではなく、出来るだけトイレでの排尿が出る様に促し実行しています。後始末の匂いにも配慮して新聞紙などを使っています。	利用者一人ひとりの排泄への意識の違いを理解し、それぞれのペースに合わせた声かけ、誘導に心がけられている。利用者が遠慮されないよう気を配り、失敗された時は大騒ぎすることなく片づけるなどの取り組みが行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヤクルト購入などを行っています。近隣のヤクルト販売が直接訪問してご自身で楽しみながら選ぶ。日課として天気の良い日は散歩をする。おやつに配慮をして薬に頼らないケアをしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	午後の時間を有効に使い入浴の時間を設けています。担当の職員さんと相談しながら、本人のペースの時間を相談して対応しています。	洗髪後の椿油、石鹸などへの好みやこだわりにも気を配り、入浴が楽しみになるよう様々な工夫が取り入れられている。個浴、同性介助などの対応もなされるほか、入浴後には必ず休憩時間を設けるなど、健康への配慮にも努められている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人のペースを大切にします。業務中に済まない様に職員にも伝え配慮しています。出来るだけ本人のペースを保つ事を基本に考えて対応しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ドクターの訪問診療の立会い 薬剤師さんの訪問日など、職員全員が対応出来る様になっています。職員が薬のセットをすることが出来る様に指導する。薬の意識を持って貰う事は職員に必要な事です。細かく指導をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割分担は係りを決めその中で対応しています。各階の行事には月事の役割を決めて対応しています。各階職員同士協力をして日々の業務を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご家族様との外出時に困らない様に前日より下剤の調整を行います。トイレに行けない事もある為、出来る限りの配慮をします。持ち物などで排泄時に使う物を用意して持って行く様に促す事もあります。	家族の協力をいただき、住んでいた地域の催しや孫の運動会などに出かける機会を設け、外出が負担にならないようにトイレの調整などの支援が行われている。朝の散歩なども新たに取り入れられ、外出したくない利用者にも声をかけ、その様子が写真などで家族にも伝えられている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に持たせても良い金額の話をしします。持参金がある方は、出来るだけ補充の際は職員に声を掛けて貰う様に話をしています。初めにご了解を頂き、紛失時のトラブルを防止しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所内の電話を自由に使える。最近の入居者様は携帯電話を持参される方もいます。約束として必ず居室内での通話をお願いしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各階工夫をして、日中レクで行った作品はフロアの壁に掲示をしています。写真を貼り、作品を張る事でご家族様からも、日々の様子が分かり楽しいと話を頂きます。見学のご家族様にも掲示物をお見せ出来る様になりました。	建物内の匂いや温・湿度、家具の色合いなどまで、きめ細かな配慮がなされ、利用者が快適に過ごされるよう努められている。また、利用者が座られる場所も考慮され、職員が間に入ったり、気の合う同士を隣り合わせにするなどの取り組みも行われている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール内椅子を使い一人で過ごせる場所を提供しています。居室内で過ごす時間も大切にしています。時々声を掛ける。訪問する事で安全には配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	実調調査の際に詳しく話を聞きます。馴染み物を持参して頂き出来るだけ自宅に近い生活を支援しています。	居室内の物の配置などは利用者の動きや車椅子での移動に配慮され、一人ひとりに合わせた居室作りが行われている。家族との団欒用のテーブルと椅子、携帯電話など、思い思いの物が自由に持ち込まれ、居心地の良い生活への支援に取り組まれている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事は時間を掛けて対応する。職員が「出来る事」「出来ない事」の共有をする。出来た時の申し送りを忘れない事、次に繋げる様な対応をしています。		

(別紙4(2))

事業所名グループホームホームみんなの家蓮田東

## 目標達成計画

作成日: 平成 26 年 12 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	複合型施設で運営しているが合同の計画が出来ていない。 合同で協力をする事で防災の協力体制が出来ると思います。	複合型施設合同での防災訓練を行う。	4月頃までに新入社員研修を兼ねて施設間での職員の交流を計画する。 消防訓練の計画を複合型施設として提案し、役割などをきちんと決めて非常時に備え消防訓練を行う。 近隣の方の参加もお願いする様に広告などを作成して複合型施設のアピールをしていきたい。	6ヶ月
2					ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。